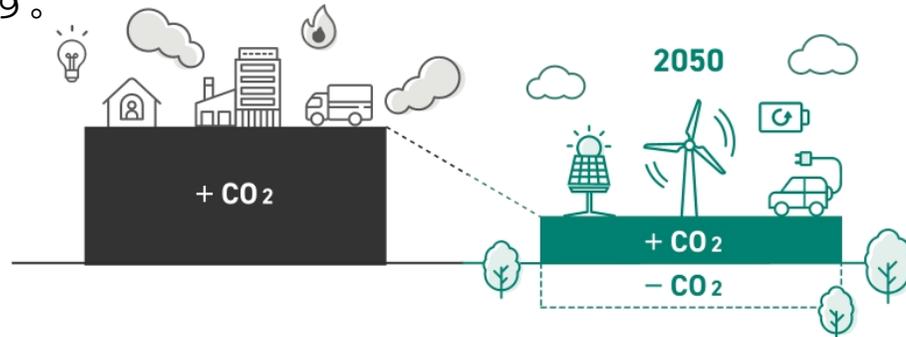


由利本荘市ゼロカーボンシティについて

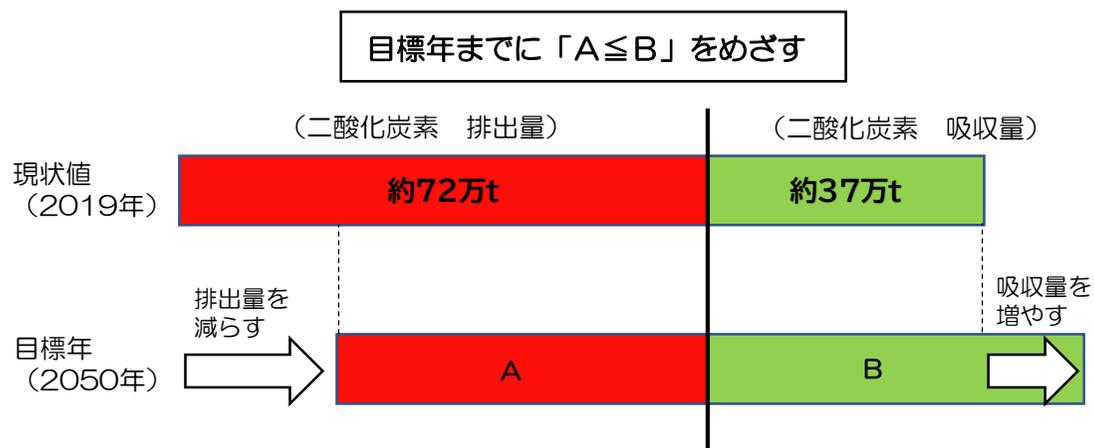
1. 「ゼロカーボンシティ」とは

環境省では、2050年にCO₂（二酸化炭素）を実質ゼロにすることを目指す旨を公表した地方自治体を「ゼロカーボンシティ」としています。実質ゼロとは、二酸化炭素をはじめとする温室効果ガスの「排出量」から、植林、森林管理などによる「吸収量」を差し引いて、合計を実質ゼロにすることを意味しています。



図：温室効果ガス実質ゼロのイメージ
参照：環境省HP

2. 「由利本荘市ゼロカーボンシティ」へのイメージ



※排出量は「自治体排出量カルテ」より
吸収量は地方公共団体実行計画（区域施策編）マニュアルに基づき算定

【排出量を減らす例】

- 高効率（省エネ）設備の導入（LED照明への切替えなど）
- 再生可能エネルギーの使用
- EV・PHV等、次世代自動車の普及
- 住宅・建築物のZEH・ZEB化（エネルギー消費実質ゼロ）
- ごみの減量・食品ロス削減

【吸収量を増やす例】

- 森林の保全・整備（間伐、皆伐・再造林など）
- 森林管理体制の強化
- 担い手の育成
- 地域産材の利用促進